

相馬病院看護部目標紹介

23度の相馬病院看護部目標をご紹介します。
現在の看護部体制になって、今年で6年目を迎えることとなります。
今年度の看護部の目標と、これを基にした各部署の目標をご紹介します。
今年度から看護部は、5つの部門となり、新たに「訪問看護科」が独立しました。

★★平成23年度看護部目標★★

『良質な看護の提供』

自分の立場をわきまえて、
相手の立場に配慮した関わりを行う

「これで良いのか？」振り返る、
「何故かな？」と疑問に思う、
「こうだから！」と説明する

- I. 安全強化
- II. 標準化
- III. 説明強化
- IV. 継続強化



昨年度は、大きな目標に「10対1基準に見合った看護の提供」として活動しました。
あえて「10対1基準」と目標に掲げて、職員の意識を高めるような取り組みをしました。
しかし看護者は、いつも質の高い看護を提供していくことを目指していかなくてはなりません。
そのために今年度は、『良質な看護の提供』と、表現を変えてみました。

わかりやすく、具体的な目標を掲げるために、スローガンは少々長めです。
常時「これで良いのかな？」「何故？」「こうなんですよ」という姿勢、ルーチンワークでなく、一人一人の個別性を考え、気付きをもって看護させていただくこと、また職員には理解してもらいやすい看護部を目標に、意識を高めて行きたいと思えます。

看護職員として、对患者様・ご家族、また看護部スタッフとして、組織の中の一員として、また医療に携わる一員としての立場を考えた関わりが出来ることが目標です。

特に今年度は、当院に「在宅療養部」が出来ました。そのため「訪問看護科」を独立させ、『訪問看護ステーション』とすることを目標にしています。より**継続した看護**を求めて行きたいと思います。

これらの目標を基にして、5つの各部署の23年度の目標をご紹介します。

★★平成23年度外来・手術室目標★★

『自分が、患者様の立場になってみて・・・これでいいの？』

チーム会、皆できる事は、何かあるかな？』

今年度は、外来組織の体制作りを重点に、外来・手術室チームの現場意見の掬いあげで看護の質の向上に努め、チームのレベルアップとチームワークを強めたいと考えています。

患者様の安全・安心を最優先に、チームの現状調査に取り組み、**自分が患者様の立場になってみて**と自分に問いかけながら、『**自分ならこうしてほしい**』の思いをチームで考える1年にしたいと思います。また、同じインシデント報告0件を目標に、チームで原因究明して対策を立てていきます。そして伝達し、外来・手術室マニュアルを利用し、マニュアルに沿った指導で、安全・安楽な看護の提供を実施していきます。またチームで評価してマニュアルの進捗を図ります。

今年度は、外来カンファレンスの開催、在宅療養部と情報サマリーの共有で、患者様からの問い合わせに対応できるよう連携を密にして、患者様・家族様からより信用・信頼される外来を目指します。

★★平成23年度2階病棟目標★★

『看護の喜びを感じられる』

看護の喜びは患者様との出会いから、患者様に寄り添うことから、そして共に働く仲間との連携から生まれてくるものだと感じています。

今年度の看護部目標でもある「良質な看護の提供」を一人一人がこころがけ、意識を高めて日々の看護の中でその喜びを感じてほしいと願っています。

患者様をご入院からご退院まで安心して過ごして頂き、満足を感じて頂けるためには、「安全」で誰もが同じ「質の高い看護」を提供出来るシステム、「納得出来る説明と同意」、「継続した看護」の4つのキーワードが不可欠だと考え病棟目標を設定しました。

患者様の為にどうする事が良いのか？自分ならどうして欲しいか？を常に念頭におき、

気づきのある（**その方に応じた**）看護の提供をしていきたいと思っています。

相馬病院看護職員として、また看護部の組織の中の一員としての立場を考え、患者様・御家族様の一人一人を大切にそして仲間も大切にしていける病棟を、スタッフ一同心を一つにして目指していきます。

★★平成23年度3階病棟目標★★

『“自分ならこうされたい”という看護の提供』

入院患者様のベッド周囲は、入院中の生活の場であり、日ごろから環境を整えるのは安全の第一歩であると指導しています。そのため昨年度は、特に環境整備強化をスタッフに発信してきました。今年度は更なるバージョンアップを目指し、患者様が早期自立に向けた療養生活をしていただけるように、スタッフ自らの行動として環境整備に配慮した看護の提供が出来るように指導していきます。

そして、もう一つの安全強化対策として、スタッフが「ヒヤリ」「ハット」した些細なことでも良いので、インシデント報告体制を更に強化し、そこからアクシデントに繋がらないシステムの見直しをするよう、継続して指導していこうと思っています。

患者様が退院後の生活に不安や不便が出来るだけ少ないように、退院支援活動として、ご入院時から在宅での生活をどのように過ごされるのか？“なぜ？”という疑問を持ちながら想定してつなげていく事を姿勢として更に継続強化していきます。そのために誰にでもわかりやすい説明をさせていただけるように、心がけていきたいです。又“**自分ならこうされたい**”という視点で日々の看護に取り組むことによって、ちょっとした気づきが心地良さにつながるような看護の提供を行っていけるよう心掛けていきます

★★平成23年度透析室目標★★

『気配り・目配り・心配り』

透析治療中の患者様にとって、快適な治療空間が提供される事、安心して治療が受けられる事が何より大事だと思います。

週3回同じ治療を一生繰り返すという透析環境は、入院生活とはまた違う物が求められます。患者様一人一人に寄り添った看護を目標にしたいと考えました。

安全・安楽の中には**ミスがない**。**感染しない**。**心地よい**。**安心できる**。など多くの事が含まれており、その為にはスタッフ全員で、光彩、音、温度など気を配るところから、ゴミが落ちていない床、汚れていないシーツ、スタッフの清潔観念が優れている、常に向上心を持って従事する、など細かい**気配り**と**配慮**が必要であると考えています。

そんな思いから、看護部目標である、安全強化、標準化、説明強化、継続強化を踏まえ

今年度の透析室看護目標が決まりました。目標に沿える様な『良質な看護の提供』を1年間継続して心がけていきたいと思えます。

★★平成23年度訪問看護科目標★★

『“安心”だとってもらえる看護の提供』

当院訪問看護も、この4月で5年目を迎えました。今年度は、病院の事業目標の一つに在宅療養部門の設立・強化のもと、訪問看護も今年度中を目指して訪問看護ステーションの設立という課題を受け、外来部門から独立しました。

スタッフも3人から5人へと増員され、大きな目標に向かっていくと同時に、現在ご利用いただいているご利用者様が“安心”して在宅療養を続けていけるようサポートしていくことが**使命**だと思っています。そのためにも、スタッフのスキルアップ、連携は必須であり、なにより病院⇄訪問看護⇄地域の**かけ橋**になりご利用者様の“安心”を維持していけるようサポートしていけたらという思いでこの目標を設定しました。